

# あいばあつ子の活動報告



1月9日 出初式



1月11日 アジア・アフリカ支援米発送式



1月26日 第7回 観光・IR・新幹線特別委員会



3月8日 ウクライナ難民支援 募金活動



3月28日 新幹線へ政策制度要求



3月28日 新幹線へ政策制度要求 改革21



3月30日 「九州・長崎 I R区域整備計画(案)」公聴会を傍聴

## YouTube 第5弾



あいばあつこ  
チャンネルは  
こちら→



## メンタルヘルス研修の1コマ

「パワハラ防止法」が2022年4月からすべての企業で義務化されます。  
「熱血指導・熱心な指導?」を見直してみませんか。



### 指導とハラスメント

指導とは

- 相手の成長に役に立つ手段・方法
- 内容が相手にもわかりやすい具体的な内容である
- 相手も納得して受け入れ、行為者の存在の有無にかかわらず安心して安全に受け取れるもの
- 疑問や質問を安心して出せる



ハラスメントとは

- 行為者の価値観の一方的な押し付け
- 恐怖と緊張を伴う
- 指導の内容が不適切・不明確
- 行為者がいる場所では実行するが居ないとなくなる関わり方



# 笑顔で暮らせる長崎県へ!

長崎県議会議員

あいばあつ子 議 会 だより



No.12 発行責任者: 饗庭敦子 発行: 令和4年4月



春の気配もようやくととのい、草木の緑が美しく映えるこの良き日に、慣れ親しんだ場所に別れを告げ、新しい世界へと、たくさんの希望と期待を胸に一步を踏み出す方も多いでしょう。それぞれの皆さまが、輝く未来に向かって歩いて頂ければと思います。

一方で、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が続いています。この戦争によって何千もの人命が不必要に失われ、女性と子どもを中心とし1,000万もの人々が故郷を追われ、基幹インフラが組織的に破壊され、世界中で食料とエネルギー価格が高騰しています。一日も早い停戦協議とウクライナの人々の平和を願うばかりです。犠牲になられた方々及びその御遺族に深い哀悼の意を表するとともに、負傷された方々の一刻も早い回復を祈念します。

新型コロナウイルス感染症は、「第6波が終わり、今は第7波の入り口といえる」と感染症の専門家が予測されています。

この新型コロナウイルスの影響で、通常の生活が送れないという特殊な状況の中、私たちが直面した苦勞やストレスは相当なものだと思います。2年以上続く中で、こころと身体に疲れがたまりやすくなっています。誰かに相談することで、こころが軽くなることもあります。1人で悩まないで「あいばあつ子」へ是非相談して下さい。

県議会議員も今任期中最終年度となりました。今年は、**ながさき新産業創造特別委員会の委員長**に就任しました。よりよい長崎県になりますように、委員会で議論し政策提案に繋げていきます。

今後とも皆様の声を県政に届けて参りますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ご相談はお気軽に

## あいばあつ子事務所

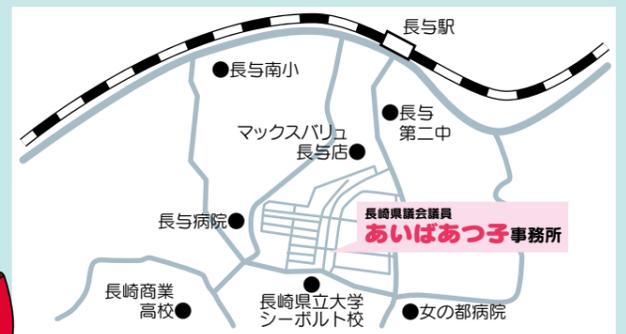
〒851-2130 西彼杵郡長与町まなび野3-6-5 メゾンR102

TEL・FAX 095-887-3131

ホームページ <https://aibaatsuko.jp>

メールアドレス [aaiba@aatsuko.jp](mailto:aaiba@aatsuko.jp)

<http://www.facebook.com/atsuko.aiba>



# 3月定例県議会報告

3月定例会は、3月14日から30日まで開かれ、本会議初日には、「離島・半島地域の振興対策に関する意見書」など2件の意見書並びに「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し厳重に抗議する決議」など2件の決議を可決しました。

その後、各常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定し、併せて、離島・半島地域振興特別委員会及び観光・IR・新幹線対策特別委員会は引き続き、**ながさき新産業創造特別委員会**を新たに設置し、その構成等を決定しました。

令和3年度3月補正予算は、一般会計で367億8,199万円を減額。令和4年度当初予算は、一般会計で6,883億681万9千円となり、67件の議案を原案のとおり可決、承認、同意しました。



## 文教厚生委員会 主な審査内容

今年度は文教厚生委員会に所属します。

### 総務部(学事振興課)

**Q** 県立大学情報セキュリティ産学共同研究センター整備の進捗状況はどうなっているのか。

**A** 令和3年度から工事に着手し、建物本体工事の契約を締結しており、**令和4年9月末までに完成し、設備についても11月までに導入**する予定である。



### 教育委員会

**Q** 第24号議案「職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」

引き続き在職した期間が1年以上との要件を廃止することで、育児休業が取りやすくなるが、会計年度任用職員として働く場合に、ほかに要件があって、取りづらいという声を聞くがどうか。

**A** 職場で取得しにくい環境になっているのではないかと考える。**取得しやすい勤務環境とするための措置**として、妊娠・出産等を申し出た職員に対する**個別の意向確認**、勤務環境の整備として**職員への研修、相談体制の整備が今回改正された**ところである。

会計年度任用職員、正規職員にかかわらず、一人ひとりのライフプランや意向を聞いた上で、働きやすい環境を整備する責務があると考えており、**全ての職場に行き渡るよう努力する**。

**Q** 在職した期間が1年以上というのは廃止されるが、会計年度任用職員にとっては、任用が1年ごとの更新となるので取得できないということにならないのか。

**A** 年度をまたがる取得の場合、有期の雇用なので、次年度も雇用があるかが要件となる。**次年度の雇用が見込まれる場合は、取得は可能**である。

## 観光生活建設委員会 主な審査内容

### 文化観光国際部

「ふるさとで“心呼吸”の旅キャンペーン第2弾」

令和4年度は180万人分の割引を見込んでおり、468億円の観光消費額を想定している。

- 宿泊及び日帰り旅行代金の50% (上限5,000円/人)
- 地域限定クーポン2,000円

### 県民生活環境部

**性暴力被害者支援「サポートながさき」**は、国が設置した24時間相談受付の夜間休日対応コールセンターを利用するにあたり、本県が夜間休日の相談に適切に対応していくため、**常勤の専門相談員を増員する**。増員により、**夜間の緊急時の対応が可能となり、体制の充実**に繋がるものである。



### 土木部

県営住宅入居申込時の連帯保証人等の取扱については、現在、**連帯保証人を確保できない方には、申請窓口において免除も可能**である。

## 農水経済委員会 主な審査内容

### 産業労働部

**航空機産業については、コロナ禍の影響が大きい**令和2年頃から航空機需要が縮小しているが、**令和6年頃には本来の成長曲線に回復**し、その後も成長を続けていく見通しである。本県の航空機産業は、**ここ3年あまりで参入企業が20社程度に倍増**したうえ、**認証取得企業数9社は九州トップ**となり、国からも注目されている。

### 水産部

漁港・港湾に放置されている放置廃船は、持ち主が処分することが責務であるが、現在、漁港・港湾にある**774隻の放置廃船のうち533隻が所有者不明**である。今後とも**所有者の探査を続けていくとともに、放置廃船対策を強化**していく。

## 総務委員会 主な審査内容

### 企画部

「新モビリティサービス構築推進事業費」のMaaS(マース)について、**西九州新幹線開業に合わせ、マイルートというアプリを県内で導入**する。またJRな

どの鉄道は定時制が確保されている一方、バス・航路・航空路等は遅れが付きものであるが、実際に遅れが発生した場合、乗り継げるところが乗り継げなかったり、決済に影響するようなことなどの**問題点をクリア**できるような検討していきたい。

「九州・長崎IR区域整備計画案」の入場料納入金・納付金については、IRの運営等に必要な経費を控除した残額について、県3分の1、佐世保市3分の1、県内各市町等3分の1の割合で配分する。**21市町への配分額は、各市町で人口規模や政策の課題に違いがあるため、柔軟性のある制度設計**となるよう、各市町の意見を聞きながら進めていきたい。

### 地域振興部

県知事選挙の投票率は前回、過去最低の36.03%から47.83%と11.80ポイントも上昇しているが、年齢別の投票率を見ると、20代前半が21.47%、後半が28.88%と**若者の低投票率が続いている**。今回、**若者向けにSNSやYouTube、検索サイト等のインターネットを活用した広告を強化**するとともに、**初めての試みとして、ラッピングバスによる啓発を行ったところであり、若者に届くような啓発方法**について検討のうえ取り組んでいく。



## 大石新知事の所信表明

所信表明では、「**私**が先頭に立って行こう」と何度も言われていました。是非、実行して頂きたいと思います。今後とも掲げた政策を注視していきます。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② **県民との対話と行動力の発揮**
- ③ **子育て支援施策と教育環境の充実・強化 合計特殊出生率「2」を目指す。**
- ④ 医療・福祉・介護の充実と人材確保
- ⑤ 地場産業の振興
- ⑥ 交通ネットワークの整備
- ⑦ 離島の振興
- ⑧ 長崎県版デジタル社会の実現
- ⑨ にぎわいの創出
- ⑩ 本県の取組の世界への発信

- ⑪ **行政財政改革の推進・知事退職金辞退 約3144万円**
- ⑫ 特定複合施設(IR)区域整備の推進
- ⑬ 九州新幹線西九州ルート整備促進
- ⑭ 県庁舎の跡地活用
- ⑮ 陸上自衛隊水陸起動団3個目の連帯の本県への配備
- ⑯ 企業誘致の推進
- ⑰ スポーツの振興
- ⑱ 県立長崎図書館郷土資料センターの開館



## 長崎新時代へ突入!

YouTubeにて詳細を紹介しています。ぜひご覧ください。